次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画

令和7年3月24日 策定

学校法人東北工業大学

学校法人東北工業大学は、仕事と子育ての両立支援、女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備、働きやすい環境づくりを通して、全教職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、以下の行動計画を策定する。

1. 計画期間：令和7年4月1日から令和12年3月31日までの5年間

2. 内容

【目標1】	教職員の育児・介護と仕事の両立支援策を強化し、特に男性の育児休業（出生時育児休業含む）取得率を計画期間終了時まで50%まで引き上げる。
-------	---

<取組内容>

- （1）所属長は、子どもの出生時、及び小学校就学前の男性教職員と面談等を行うことにより、育児休業及び育児のための時間外勤務の免除または制限に関する意向を確認し、希望する場合は取得できるように支援・調整をする。
- （2）育児や介護を行う教職員が家庭生活と仕事を両立できるよう、テレワーク制度やフレックスタイム制度など、柔軟な働き方ができる体制を整備する。
- （3）各種休暇取得促進のためのガイドブックを作成し、周知する。

【目標2】	管理職、その一つ下の職階（課長補佐）及び二つ下の職階（事務主任）に占める女性割合を30%以上にする。
-------	--

<取組内容>

- （1）男性管理職向けに意識改革・部下の成長支援への取り組みを実施する。
- （2）女性教職員向けにキャリア形成や動機づけのための研修を実施する。

【目標3】	計画期間内における事務職員、高校教員の平均所定外労働時間数を、5年間で10%削減する。大学教員の年次有給休暇の年間平均取得日数を10日以上とする。
-------	---

<取組内容>

- （1）前年度と比較した所定外労働状況を毎月管理職にフィードバックし、各所属部署の勤務時間を把握するとともに、所定外労働時間が多い特定の教職員がいた場合は、業務量の平準化を図るほか、長時間労働削減に向けたマネジメントを行う。
- （2）年次有給休暇の取得状況を定期的に確認し、取得日数が少ない大学教員には取得を促す。
- （3）業務のDX化を継続的に行うことにより、業務の効率化・合理化を推進する。

以上